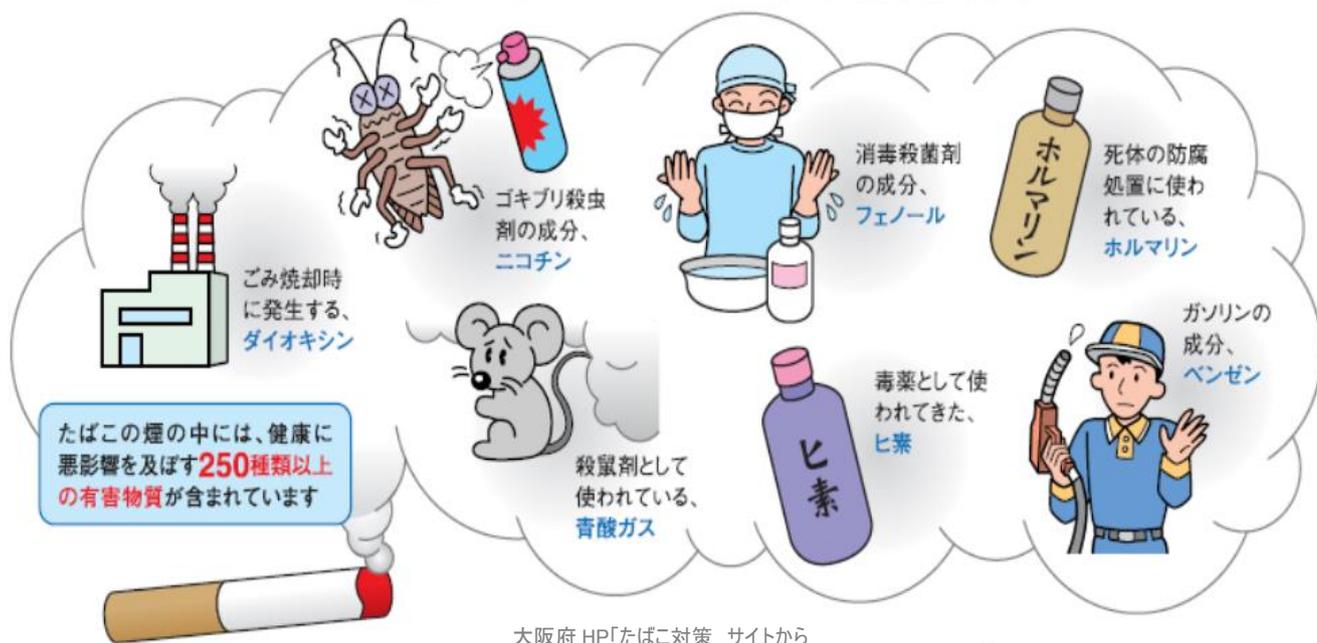


週刊 **タバコの正体**

タバコの煙には4,000種類以上の化学物質と250種類以上の有害物質、60種類以上の発がん物質が含まれています。「毒の缶詰」と呼ばれほどに有害物質がいっぱいです。下図に示すように、間違えても口にすることはできない物質ばかりですよ。

でも、ニコチン依存症になってしまうと、毎日こんな有害物質を吸い込み続けることになるのですから、タバコに手を出すのはあり得ない行動に思えます。しかし、世間にはこの事を知らずに、もしくは気にせずタバコを吸い続けているニコチン依存症の人はたくさんいるのは、気の毒な気がします。

たばこの煙の中にはこのような有害物質が！



左の写真は、そんなタバコの煙に含まれるタールを集めたものです。煙はすぐに消えてしまうので、こんなものが含まれているとは想像できませんが、タバコを吸うという事は、これを飲み込んでいるのと同じなのです。

こんなものを勧められても、お断りですよ。

産業デザイン科 奥田恭久



歯科医が教える歯の教室 サイトから